

都市再生整備計画 事後評価シート

水原駅周辺地区
(地方都市リノベーション事業)

平成30年11月

新潟県阿賀野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	阿賀野市		地区名	水原駅周辺地区			面積	168 ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	2952.1	国費率	0.463				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(地方都市リノベーション事業):市道中学校前通り線 公園(地方都市リノベーション事業):天朝山公園 地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業):水原総合体育館 地方都市リノベーション推進施設:新病院 既存建造物活用事業(地方都市リノベーション事業):地域交流センター										
		提案事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業											
	新たに追加した事業	基幹事業											
		提案事業											
交付期間の変更	当初	平成25年度から平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし						
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	市立病院利用者数	人/年	90,081	H23	108,535	H29		98,949	△	あり なし ●	整備後は前年比5%/年の患者数増加が見込まれたが平成29年度は一部の診療科で診療体制が整わなかったことが要因で目標は未達成となった。	平成34年5月
	指標2	地域交流センター利用者数	人/年	36,004	H24	37,000	H29		40,473	○	あり なし	交流拠点として新たに整備した市民ギャラリーの利用者が5,000人/年と増加したことから全体の利用者の増に繋がった。	
	指標3	防災訓練実施団体数	団体/年	3	H24	10	H29		4	×	あり なし ●	避難所のハード整備では、直接的に防災意識の醸成への働きかけには繋がらなかったことから、1団体の増の留まった。	平成33年5月
	指標4										あり なし		
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

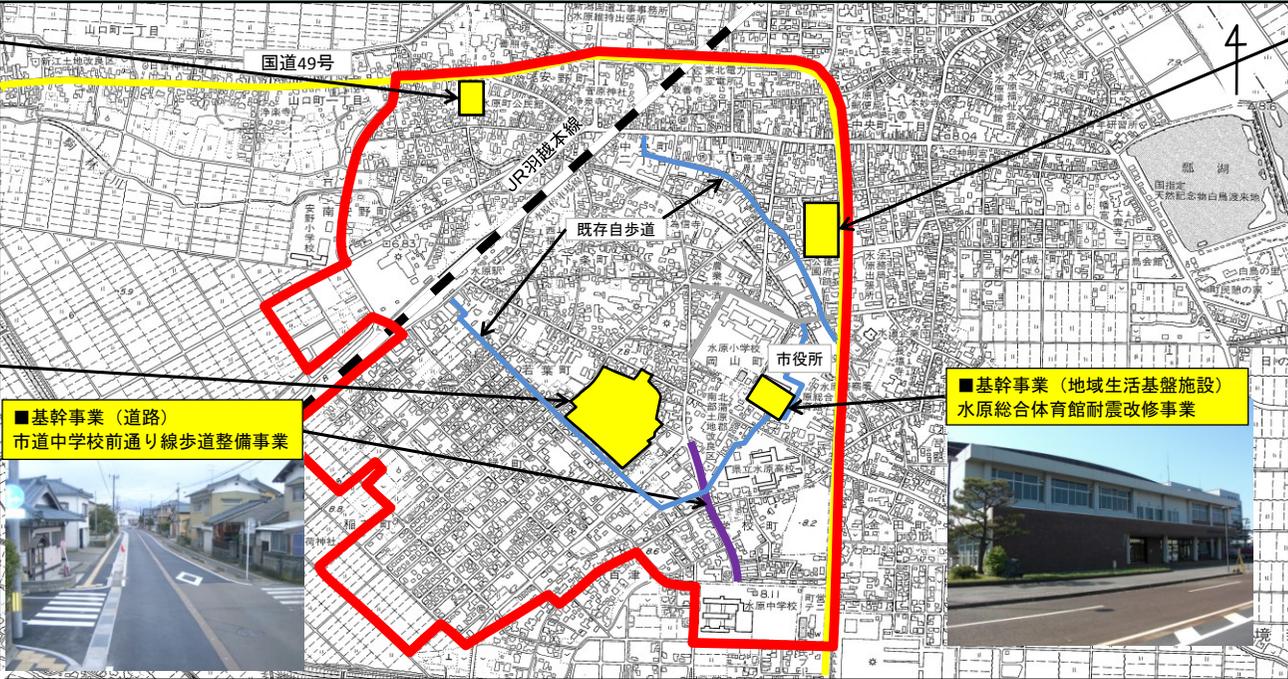
様式2-2 地区の概要

水原駅周辺地区(新潟県阿賀野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
■ 都市的生活環境の向上による中心市街地の再生 ・市立病院を核とした賑わいの創出 ・防災・減災のまちづくり	市立病院利用者数	人/年	90,081	H23	108,535	H29	98,949	H29
	地域交流センター利用者数	人/年	36,004	H24	37,000	H29	40,473	H29
	防災訓練実施団体数	団体/年	3	H24	10	H29	4	H29
				H		H		H
			H		H		H	

■ 基幹事業 (既存建造物活用事業)
地域交流センター整備事業





■ 基幹事業 (公園)
天朝山公園整備事業



■ 基幹事業 (地方都市リノベーション推進施設)
新病院整備事業



■ 基幹事業 (道路)
市道中学校前通り線歩道整備事業



■ 基幹事業 (地域生活基盤施設)
水原総合体育館耐震改修事業



■ 効果促進事業 (調査)
商店街活性化に向けた実態調査

■ 効果促進事業 (活動支援)
防災啓発事業

■ 効果促進事業 (公共交通)
市営バス利用促進事業



まちの課題の変化	中心市街地の核となる新病院の整備、水原公民館や天朝山公園をはじめとした既存施設の機能向上及び歩道の整備等によって、水原駅周辺地区はハード面における賑わい創出のネットワークが完成したと考える。今後は、中心商店街での買い物の定着化や防災意識の向上など、地域市民の意識に直接働きかけるようなソフト面での施策を充実させることで、この整備されたネットワークを有機的に結び付けるような仕掛けが課題となる。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	当該都市再生整備計画事業で整備したハード面のネットワーク機能を最大限活用できるような仕掛けをソフト事業によって補完、充実させることで地域市民の意識に直接的に働きかけを行い、内部からの活性化を促す仕掛けをつくるのが今後の課題と捉える。 具体的には、病院指定管理者と協働で行う常勤医師の招へい事業によって、新病院での定期的な診療体制の確保を図っていくこと。また、市民ギャラリーにおける企画展等の検討や、高齢者などを対象とした中心商店街への買い物支援など、整備した施設を最大限活用するソフト事業の展開によって、まちなかへの人の流入を増加させること。更に、市主催の防災訓練への参加呼びかけや自治会等を対象とした防災塾、防災講演会の実施によって市民の防災意識醸成を図ることの3点が主要方策となる。